

第3回第4次行政改革大綱策定検討部会会議録【公開用】

(以下、敬称略)

【日 時】 令和6年11月22日(金) 午前10時～午前11時30分

【場 所】 安中市役所 206 会議室

【出席委員】 4名(谷口、松田、萩原、田島)

【欠席部会員】 なし

【事 務 局】 3名(政策・デジタル推進課長、政策・デジタル推進係長、担当職員1名)

【配付資料】 会議次第、第40回安中市行政改革審議会会議録、
第4次安中市行政改革大綱(原案)、第3次安中市行政改革大綱実施計画の実施状況

【詳 細】

1 開会 《政策・デジタル推進課長》

2 部会長挨拶 《谷口部会長》

3 協議事項

(1) 第4次行政改革大綱について

(2) 第4次行政改革大綱実施計画について

<審議>◇=委員 ●=事務局 以下同じ

●(1) 第4次行政改革大綱について

(資料1、資料2に沿って説明)

協議事項

①「“身近な項目から実践してみてください”という表現は、“実践していきましょう”などの表現に改めるほうがよいのでは」との意見あり。意見を踏まえ、本日の原案では表現を改めている。

②「重要なのは第2章であるので第1章をよりコンパクトにしたほうがよい。原案は、第1章が長く前半で読むことに疲れてしまう構成になっていると感じる」との意見あり。

第1章 策定の趣旨「1 行政改革の目的と必要性」について、さらに要点を整理するほうがよいか。

③「住民エゴという表記は、声の大きな人の意見が通りがちであることから、第3次行政改革大綱に入れた。意見やニーズがたった一人の意見であるかどうかをチェックすることは可能だと思う。市民側も自分一人の意見だけを通そうとするのではなく他の分野で困っている人がいるのかも目配せすることが必要で、その結果出てくるのが本当の市民ニーズだと思う」との意見あり。このことを踏まえ「住民エゴ」という表現を取り入れるかどうか。

④「第1章と第2章の内容の関係性が見えづらい構成になっていると感じる」との意見あり。これについて、方針を並び替えて方針4、5を最初に記載する構成も1つの方針として考えられるがどうだろうか。

◇①について原案で修正しているが、そのとおりでよろしいか。⇒異議なし。
◇②について「第１章が長いのでないか」とのことだった。審議会において私からは、第３次行政改革大綱と比較すると分量は約３分の１程度となっており、なおかつ文章表現も会話調にするなどわかりやすいように工夫していることを説明した。部会で検討することとなったため、意見を願いたい。
◇目的と必要性は短ければいいわけではない。重要なところであるのでこれ以上は短くはできないと思う。これでよいと思う。
◇充実した内容でまとめられているので、このままでよいと思う。特に最初の職員に対する呼びかけのような出だしは目に留まり、読み進めやすいものとなっていると感じた。
◇読み進めやすいようにできており、このままでよいと思う。
◇部会としては、現在の原案どおりという回答でよろしいか。事務局から何かあるか。
●会議録の３ページについて補足だが、委員からは、部会での議論を尊重し、かつ、委員が重要だと考えられる箇所として挙げた３文を簡潔に伝える手段として、３文を太字等にするという提案があった。アンダーラインを引いたり太字にしたりするという手段も可能だと考えられるが、意見を伺いたい。
◇過去の大綱の文面には、そのような例はあったのか。
●ないが、強調することとなっても問題はない。
◇意見を願いたい。
◇伝えるために工夫することはいいと思う。
◇本文にアンダーラインを引くなどすると、文章の趣旨がずれてしまうのではないか。強調するのであれば、文章の整合性が取れるよう本文を項目に分け、強調したい箇所をタイトルとして設定したうえでアンダーラインを引くなど、構成を作り直す必要があると思う。
◇ポイントとしてアンダーラインを引くことはあってもよいと思うが、どこに引くかにより捉え方が変わってしまうと思う。
◇アンダーライン等で強調すると、読み手によって文章の趣旨の受け取り方が変わってしまうことが懸念される。趣旨が変わってしまう可能性があるならアンダーライン等を加えず、そのまま読み進めてもらうほうがよいのではないか。例えば「住んで良かった」と思える安中市”だけにアンダーラインを引いても何を伝えたいか分かりにくくなってしまう。口語文を織り交ぜた文章構成となっている中で一部分を強調すると混乱すると思う。 また、最も印象的な決め言葉は、最後の呼びかけの１文だと思う。このような文面は、行政文書としてほかに見たことがなく斬新でいいものであると思う。
◇事務局から何かあるか。
●今回は、審議会に出た意見を検討することが目的である。部会で審議し、現在の原案のとおりがよいという結論になれば、そのように審議会へ上程いただければよい。

◇ほかに意見等あるか。
◇個人的には、本文のうち３文を強調しても違和感なく読めると感じる。最後の１文を強調するならば、例えば、枠で囲んでも構わないと思う。 現在の原案どおりでも強調する工夫を加えても、どちらでもよいものになると考えるので、ほかの部会員に一任する。
◇意見をまとめると、審議会全体として「行政改革の目的と必要性」の中で強調したい部分を集約することは難しい。また、本文の一部分を強調することは、読み手の受け止め方を特定の方向にリードしてしまう可能性があるため避けるほうがよい。したがって、現在の原案のとおりとする。以上を部会の回答としてよろしいか。⇒異議なし。
◇③について「住民エゴ」という表現を取り入れるかどうか、意見をお願いしたい。
◇言葉とするときつく感じる表現だと思う。行政側から見れば「住民エゴ」と捉えられる少数意見も、住民側からすると切実な願いかもしれない。また、どのような意見も公平に扱うのが行政の立場として大前提であり、行政の立場から「住民エゴ」と表現することは穏当ではない。原案どおりの表現でよいと思う。
◇第１回目の部会でも審議しており、原案どおりの表現でよいと感じる。「住民エゴ」は音としても不快に捉えてしまう。 ただし、第３次行政改革大綱で入れていた経緯をどう扱うかだと思う。
◇第３次行政改革大綱に携わってこられた委員の意見ではあるが、先ほどの意見にあったように表現として穏当ではないと思う。
◇原案の表現は趣旨がよく伝わってくる。「住民エゴ」という表現はきつく感じるため、第４次行政改革大綱には入れずに策定するほうがよいと思う。
◇部会の総意としては、やはり表現として穏当ではない。行政側の住民意見を受け止める態度についても考慮して「住民エゴ」という表現は使わず、現在の原案どおりで趣旨は伝わると考えられる。以上を部会の回答としてよろしいか。⇒異議なし
◇④についてだが、第１章の「１ 行政改革の目的と必要性」の文章に “昨今、社会情勢は…～それらの手段としてDXを進めることも重要です。”（12行目～15行目）という文言が織り込まれており、大綱の冒頭文面に則した形で大綱全体が構成されていると思う。 大綱全体の構成として大きな問題はないと思うが、意見等お願いしたい。
◇構成に関してもつながりを把握でき、このままの構成でいいと思う。 案として出ていた方針の４、５を先に持ってくる構成に関しては逆に違うと思う。
◇同意見である。
◇同意見である。
◇部会としては、大綱の１つの形として原案のとおりでよいと考える。 よろしいか。⇒異議なし。
●（２）第４次行政改革大綱実施計画について （資料３沿って説明）

協議事項
➤ 6月の審議会で実施計画について「年度目標に対して数値目標がない項目があること」や「5年間、1年目に設定した目標を変えずに取り組むこと」などについて改善すべきとの意見があった。事務局として、第4次行政改革大綱の実施計画の方向性として、具体的な数値目標を設定できる項目になるべく絞って作成すること、また、5年間の中で状況に応じて目標を変えられるものにしたいと考えている。このことについて、ご意見があれば伺いたい。
◇第4次行政改革大綱実施計画を策定するにあたり、第3次安中市行政改革大綱実施計画の実施状況を踏まえて、自由な意見をお聞かせ願いたい。
◇政策・デジタル推進課で計画の案を設定して各課を統率するほうがよいのでは。
◇数値化できるものは分かりやすいが、行政サービスは複雑多岐にわたり、数値化できないものも多数ある。数値に現れない部分も実践し、市民満足度につなげなければいけない。そのためには、担当各課が吟味することによって大綱に沿った実施計画を作成することが必要だと思う。
◇大綱の趣旨を、実施計画を立てて実行することによってうまく具現化できる状態が望ましい。令和11年度末に全体の目標を達成するために、大綱の第1章「1 行政改革の目的と必要性」で掲げている「住んで良かった」と思える安中市をつくること」ができているか、市民アンケートを毎年実施するのはどうか。「安中市に住んで良かった」と思う人がどのくらいいるか、例えば住環境が良いかなどの設問で数値化した市民の評価と、大綱の各項目との整合性を、回収率の問題も対処しつつ検証していけばよいのでは。 また、アンケートの結果で見た安中市の良い面は、現場に返してあげるとよいと思う。
◇市民満足度という観点から考えることとして、市民にとっては、例えば水質の変化など、生活に密接に関わる情報を必要としている。各課の横のつながりを確認し、情報発信していけるとよいと思う。
◇市民にとって身近な満足度につながる取組が、市民との信頼関係を築くことになる。そのため、各課で市民ニーズを最も満たせる施策という観点で項目を挙げ、行政改革の面で重点的に評価するのはどうか。
◇数値化できない項目を全部削除してしまうのは望ましくないと思う。数値化できないものもあるだろうが、なるべく数値化できるようにアンケートを実施するなど、できるだけ数値化していく工夫が必要だと思う。現在、IRすることが時代の流れになっているため時代に乗り遅れない努力が必要となってくると考える。

4 その他

➤ 第4回会議の日程について

今後の行政改革審議会における審議状況にもよるが、部会の審議は今回をもって終了見込みとなったため、実施予定なし。

5 閉会